

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務

少年少女

発明クラブ開講

11月19日協議会開催

ものづくりを通して、創造性豊かな人間形成を図る目的で10月21日開講した。

(町内小学生32人参加)

Q 運営の予算は。

A 公益社団法人発明協会などから計40万円。受講者から1人年5000円を徴収し運営。

Q 他市町の状況は。

A 県内で2市町が開講。



紙トンボづくりを熱中 (中央公民館)

活動主体は、市町が補助金を出して、発明クラブが運営している。

コンビニ納税導入の検討

Q 手数料の負担は。

A 町が負担する。

Q 利点は。

A 24時間開いていて、店舗も多い。遠方でも納められ、納税機会が増加する。

新斎場の基本

設計まとまる

産業建設

11月12日協議会開催

斎場施設更新のための基本設計が完了した。

Q 現在の敷地の中で更新される新斎場の特徴は。

A 告別室と拾骨室を一体化(ユニット化)し、プライバシーも確保した。

Q 現在の敷地を拡張する検討は。

A 建物の背後に山があり、県が条例の制限を受け、不可能だった。

Q 火葬炉のメーカー選定のポイントは。

A 他施設での実績やメンテナンス、大災害時のノウハウなどの総合評価で



新斎場イメージ図 (蒲郡市竹谷町地内)

決定した。

耐震改修新補助制度の検討

平成32年度に耐震化率95%を達成するため、耐震改修と減災対策を並行して展開する。

Q 耐震改修促進計画の概要は。

A 旧耐震基準の木造建築約3000棟が対象。耐震リフォームや耐震シールド設置補助を、新たに追加する。

Q 耐震シールドとは。

A 4.5畳程度で、2人分のベッドが入る補強された部屋

特別養護老人ホーム 新たに開所予定

文教福祉



特養ホーム開所予定地（里地内）

11月9日協議会開催

社会福祉法人あいちメリーホーム幸田（仮称）を平成26年、深溝地区に開所予定。

Q 事業者決定が遅れたのは、審査会の審議の延長と県当局との調整で2カ月延びた。

A 事業者決定が遅れたのは、審査会の審議の延長と県当局との調整で2カ月延びた。

Q 選考の過程で優先したことはなにか。

A 町の南部であり宅地であることを優先した。

Q 町の補助は、費用的な補助は考えていない。

A 「あいち」の運営理念は、地域との交流を大切に
する運営方針である。

わしだ保育園の大改修

平成25年度完成に向け工事の実施計画が示された。

Q 増築による定員増は、3歳未満児30人、3歳以上児50人の増となる。

Q 新設の駐車場は何台分か。

A 10台だが、不足なら、町有地の空き地の活用も考える。

Q 工事中の安全確保と子どもたちへの配慮は、どうもたちへの配慮は、

A 保安員を配置し、仮囲いをする。子どもたちへのストレスは配慮する。

特別委員会視察レポート

防災対策



6m 段差の根尾谷断層

防災・要援護者対策 などを視察

10月4・5日、長野県箕輪町、岐阜県下呂市、本巣市を視察した。

箕輪町

小中高体育館を2次避難所で指定。

聴覚障害者世帯に表示機能付き個別受信機50台を配備。

町内会（区）入りが年々低下し、75%程度で苦慮している。

下呂市

土砂災害ハザードマップを1万2000全戸に配布。

災害対策本部に消防団長が加わり、各方面隊に指示している。

年間100万人を超す観光客への防災対策、避難者支援で、ホテルなどの提供は今後の課題。

本巣市

根尾谷断層観察館を視察。市域37.4kmで、行政区120

で手が回りかねている。要援護者は、本人手挙げでなく、市職員が調査リスト作成。民生委員、自主防災組織の協力で実施。

市内にゼネコンクラスの段ボール製造企業があり避難所の間仕切り、段ボールベットを必要数保管する協定を結んでいる。